

持続的成長を実現する事業基盤の強化を推進してまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

このたびの台風をはじめとする自然災害により被災されたみなさまには、心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興をお祈り申しあげます。

上期は、おかげさまで売上・利益ともに前期を上回る実績となりました。下期においては、取引先様との取組み強化など計画達成に向け邁進すると同時に、生産性の高い物流センターの新設など持続的成長に向け、事業基盤強化に努めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 糟谷 誠一

2020年3月期 第2四半期の実績

売上高

5,449億円

前期比：+4.4%

営業利益

137億円

前期比：+0.3%

経常利益

151億円

前期比：+0.7%

四半期純利益

103億円

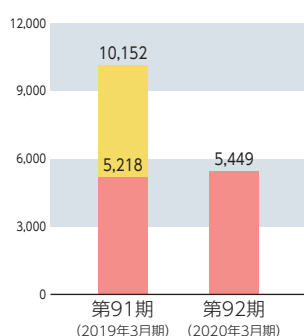
前期比：+1.4%

- 売上高は、取引先様との取組み強化及び消費税率引上げに伴う駆け込み需要などの寄与により増収となりました。
- 利益面は、売上総利益率が低下する一方で、改善活動等による販管費率低下により増益となりました。

実績の推移

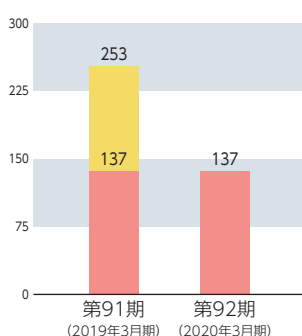
売上高

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



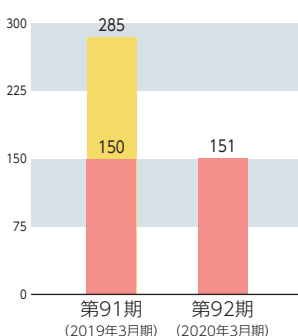
営業利益

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



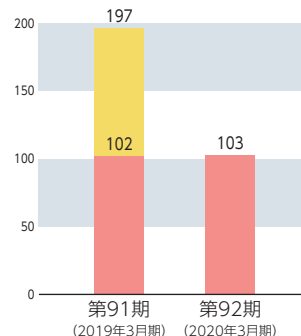
経常利益

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



四半期(当期)純利益

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



2020年3月期 通期計画

売上高

1兆500億円

進捗率：52%

営業利益

250億円

進捗率：55%

経常利益

275億円

進捗率：55%

当期純利益

255億円

進捗率：41%

- RDC埼玉新設に伴う首都圏の出荷体制の見直し及び経営資源の効率化を目的としたRDC東京の売却により、特別損益93億円*を計上する見込みのため当期純利益のみ上方修正いたしました。

*2020年3月期下期：特別利益（固定資産売却益）94億円、特別損失（固定資産除却損）1億円を計上見込み。

社会インフラ企業としての基盤強化 ➡ 人手不足の環境下においても商品の安定供給を可能とする「生産性向上」と「働く人に優しい物流」の実現にチャレンジ

RDC埼玉が2019年11月に稼働

- 流通業界における人手不足に対応した生産性が高い“新物流モデル”の第2弾
- 最大市場(1.1兆円)である首都圏における流通の効率化と事業規模の拡大を推進



年間出荷能力：1,200億円 投資総額：230億円 所在：埼玉県北葛飾郡杉戸町

- 特長
- 当社最大規模の物流センター
新物流モデル第1弾のRDC新潟と比較して約5倍の規模
 - 大幅な生産性向上を追求
ピース出荷の人員生産性が従来比2.5倍
 - 働く従業員への優しさも追求
ケース出荷作業の自動化により、従業員の負担軽減

安心・安全の物流に向けて

災害時等にも商品を安定供給できる体制

- 建物全体が免震構造
- 非常用発電機を設置
- サーバー2重化
- 近隣センターとの相互補完体制

AI・ロボットの活用をさらに推進 ➡ 人員生産性の向上を追求

ピース出荷

新規導入

AIピースピッキングロボット

●日本初のシステムによりピース出荷作業の一部工程を自動化

ケース出荷

新規導入

AIケースローディングロボット

●ケース出荷作業における台車への積み付け作業を自動化

新規導入

AIケースピッキングロボット

●パレットに積み上げられたケース商品の出荷作業を自動化(スピード向上)

働く人に優しい職場環境の実現に向けて、自動化エリアを拡大し従業員の負担を軽減

「ホワイト物流」推進運動にも取り組み

「ホワイト物流」推進運動とは

トラック運転者不足が深刻になっていることに対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に役立つことを目的として政府も推進している運動です。

荷主企業と物流事業者が協力して物流を改善する取り組みです。

「ホワイト物流」推進運動 賛同企業

当社も賛同しています

RDC埼玉での取り組み

最新の「仕組み」や「自動化」によりトラック運転者の長時間労働の原因となる待ち時間の短縮や荷降し時間の削減に取り組んでいます。

待機時間を削減

新規導入

予約システム

物流センターへのトラックの着荷時間を事前予約し待機時間をゼロへ

検品待ち時間を削減

新規導入

自動検品システム

人が対応していた商品の検品作業を自動化し作業スピードを向上

荷降し待ち時間を削減

新規導入

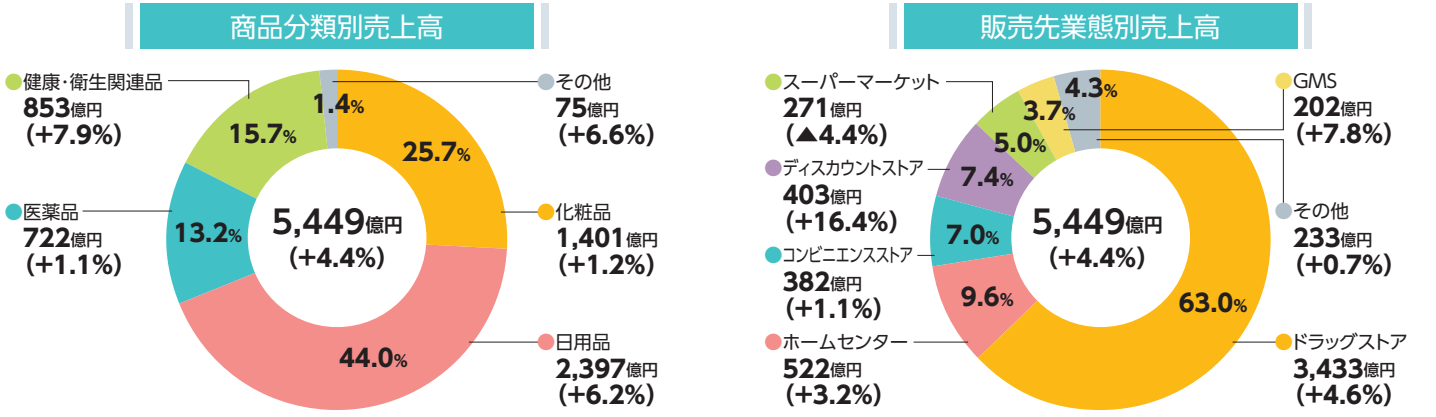
ロボストレージ

人が対応していた商品の倉庫への搬送作業を自動化し作業スピードを向上



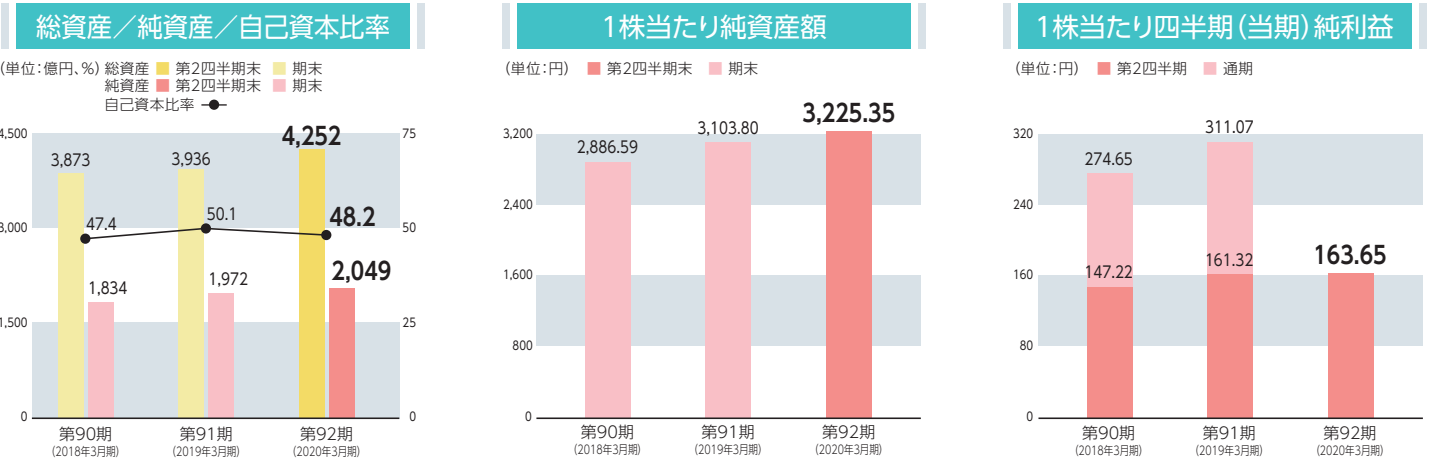
決算情報 (2020年3月期第2四半期)

区分別売上高実績



※()内の数値は前期比、グラフ内の数値は構成比になります。

財務ハイライト



※「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を2019年3月期から適用しており、2018年3月期の実績は当該会計基準等を反映した遡及適用・組替後の数値を記載しております。

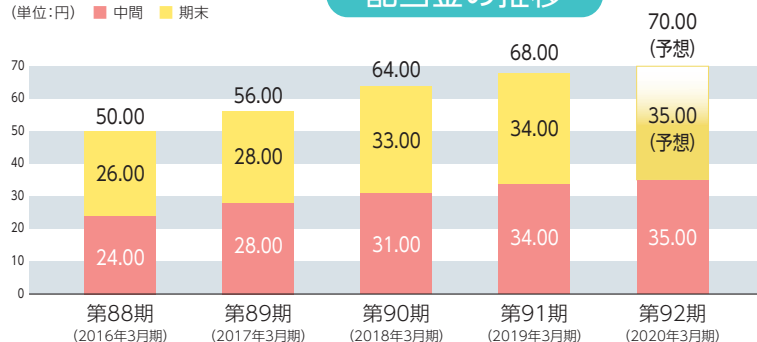
株主還元について

10期連続して増配を実施 ※予想含む

当期の配当金は当初の予想どおり、1株当たりの中間配当金及び期末配当金ともに、前期に比べ1円増配し35円といたします。これにより、1株当たりの年間配当金は2円増配の70円となる見込みです。利益配分につきましては、引き続き、安定配当の継続・中長期的な業績拡大に応じた増配等に努めてまいります。

配当実績／配当予想

(単位:円) ■ 中間 ■ 期末

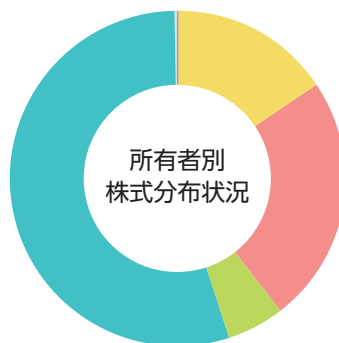


※連続増配は株式分割に伴う実質増配を含んでおります。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,553,485株
株主数	3,412名

※自己株式6,287株



金融機関	9,896千株	(15.6%)
外国株主	15,316千株	(24.1%)
個人株主	3,408千株	(5.4%)
その他法人	34,762千株	(54.7%)
証券会社	163千株	(0.2%)
自己株式	6千株	(0.0%)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	3月31日、9月30日
株主確定日	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) http://www.paltac.co.jp/ 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関するお手続き、その他株主事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

単元未満株式について

単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主さまは、当社に対しその単元未満株式の買取を請求することができます。買取請求のお手続きの方法等につきましては、お取引のある口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

ホームページのご案内



詳しい会社情報や
財務関連情報を
ご覧いただけます。



PALTAC IR

検索

<http://www.paltac.co.jp/>

社会インフラとして生活を支えつづけて120年



見通しに関する注意事項

この中間株主通信に記載されている当社の計画、見通し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見通しと異なる可能性がありますことをご承知おください。



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。